

2019年 新宿駅周辺防災対策協議会主催
講習会・現地本部訓練事前説明会

現地本部運営講習会

～実際のツールを使った現地本部運営の疑似体験～



本日の流れ



時間	(分)	内容
13:30	10	開会の挨拶・目的
13:40	20	2019年度現地本部訓練について
14:00	10	講習会の進め方の説明、前提条件の解説
14:10	70	現地本部疑似体験&ディスカッション
15:20	10	休憩
15:30	50	ふりかえりと共有
16:20	10	まとめ

目的



- 西口現地本部をモデルとして「新宿ルール実践のための行動指針」に基づく現地本部の運営を実際のツール「現地本部立ち上げキット」を活用しながら疑似体験する。
- 疑似体験を通し、現地本部の役割、災害対応、各種情報の取扱方法の実際を理解・体感し、課題をディスカッションする。

現地本部の活動 (西口現地本部マニュアル 案・講習会用より)



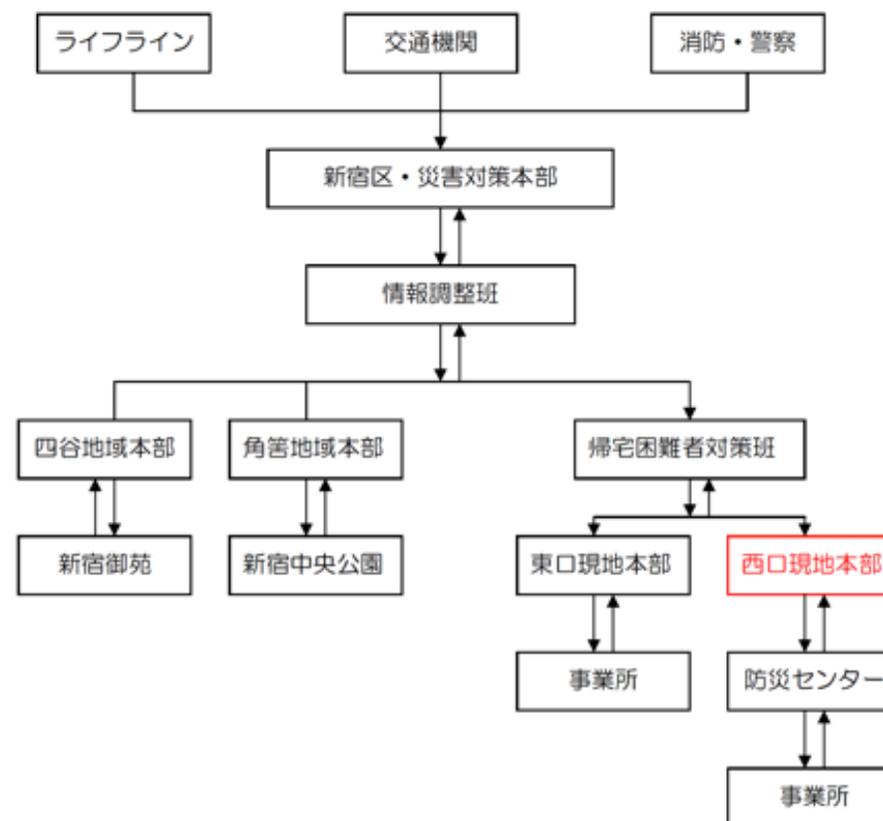
大規模災害時、公共交通機関の運行停止に伴い新宿駅周辺は多くの滞留者で混乱する恐れがあります。

新宿駅周辺の地域の事業者が、**必要な情報を共有し、連携して効率的な災害対応活動を行う**とともに、**周辺滞留者へ情報を提供することで、新宿駅周辺の地域全体の災害対応力を向上**させること。

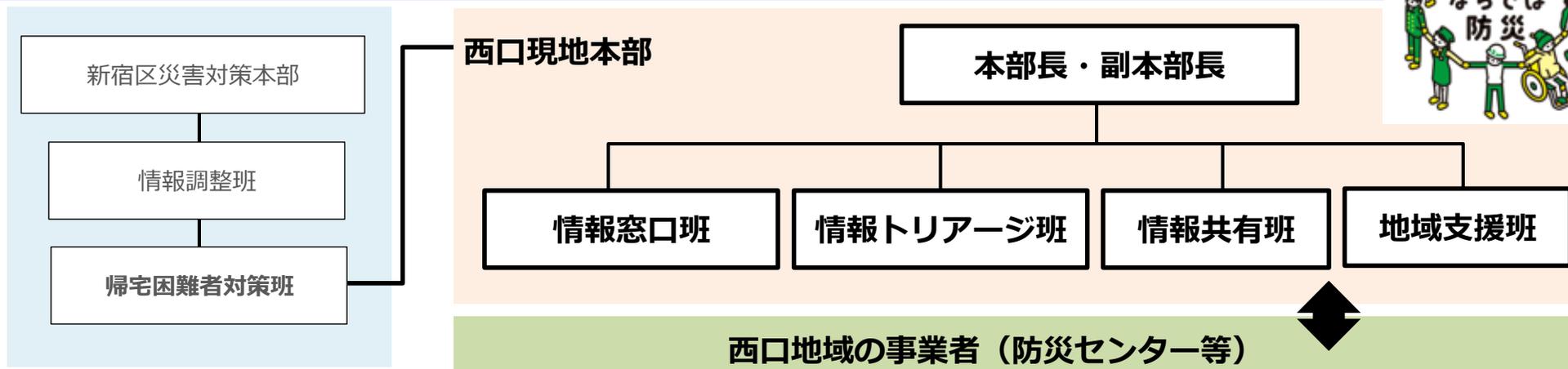
活動① 駅周辺**事業者の情報交換**の拠点

活動② 地域の**応急救護**の情報拠点

活動③ 地域の**災害対応の支援**拠点

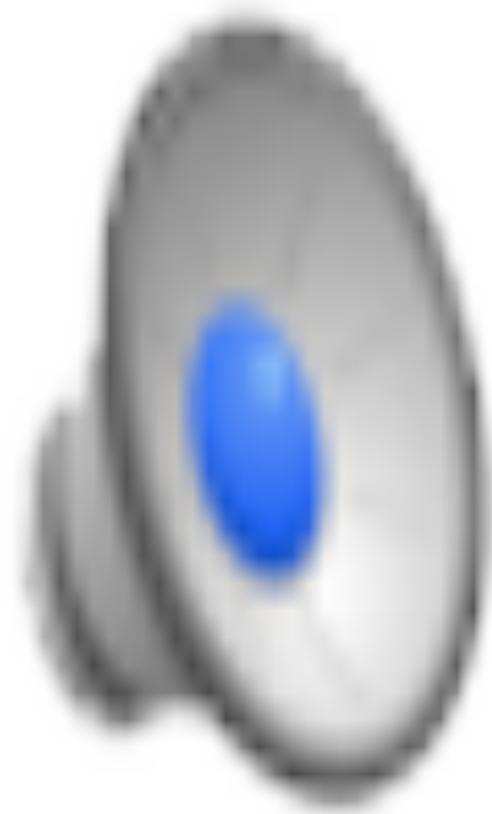


役割分担 (西口現地本部マニュアル 案・講習会用より)



役割	活動内容
本部長・副本部長	西口現地本部の 運営指揮 (状況把握、意思決定、指示、外部との調整)
情報窓口班	各ビル、新宿区等から西口現地本部に寄せられる 各種情報の確認、交換 (緊急医療救護所、災对本部、一時滞在施設等)
情報トリアージ班	情報窓口班が受け付けた各種情報から、事業者や滞留者に 提供すべき情報の抽出
情報共有班	情報トリアージ班と連携し、各種情報を地図やホワイトボード等にとりまとめ、 情報の可視化 をする。
地域支援班	各種ボランティア、物資等に関する 提供・派遣依頼情報の入手とマッチング 専門家派遣先の決定

東日本大震災時の新宿 (動画)



前提条件



- 平日の午後12時に、23区内で最大震度6弱の地震が発生
- 電車、バス等の公共交通機関は運行停止
- 都内の一部で停電・断水
- 固定電話、携帯電話は使えるが、輻輳状態で不安定
- 新宿駅周辺には数万人規模の滞留者が発生

被災イメージ (詳細 1)



【想定】 東京湾北部地震M7.3 震度 6 弱～震度 6 強

項目	内容
建物被害	<ul style="list-style-type: none">高層建築物を中心に、構造部材の被覆等により直接は被害状況を確認できないため、応急的な被害状況が確認できない。火災が発生した建築物では、全館退避を余儀なくされ、当該ビルでは事業所内での残留ができなくなる。固定していない家具や什器等が移動・転倒し、室内が使用不可能となり災害対応や事業継続の妨げとなる。高層ビル街では、多数のエレベータが同時に停止するとともに、商用電源が供給されないため、閉じ込め者が発生する。
人的被害	<ul style="list-style-type: none">密集市街地や飲食店街では、発災時間により大規模火災が発生し、直接火傷を負うケースのほか、煙に巻かれる等により多数の死者が発生する。市街地では、看板や壁面の化粧材等のビル等からの落下物に直撃し死者が発生する可能性がある。市街地内では移動のボトルネックとなる場所に人々が集まり過密状態となり、負傷者が発生する。

出典：新宿駅周辺地域都市再生安全確保計画【第三次改定】平成29年3月（抜粋）

被災イメージ (詳細2)



項目	内容
ライフライン	<ul style="list-style-type: none">地震直後は、火力発電所の運転停止等により供給電力が5割程度に低下し、需給バランスが不安定となり、広域で停電が発生する。管路や浄水場等の被災により、約5割の利用者で断水が発生する。管路やポンプ場、処理場等の被災により、約1割の施設について被害が生じ、一部で水洗トイレの使用ができなくなる。(携帯電話の) 音声電話は利用の集中・輻輳に伴う通信規制等により、著しく使用が制限され、ほとんど接続できなくなる。音声通話が集中するため、通信規制が行われ、ほとんどの一般電話は通話が困難となる。
交通	<ul style="list-style-type: none">鉄道、バスは運行停止道路は渋滞
滞留者	<ul style="list-style-type: none">新宿駅をはじめ、都庁前、西新宿等の駅では、地震により運転を停止した鉄道の乗客や、鉄道の運行状況を確認するために集まった人々で混乱する。

出典：新宿駅周辺地域都市再生安全確保計画【第三次改定】平成29年3月(抜粋)

行動指針に基づく災害時の時系列イメージ



- 混乱を抑える
- 身の安全を確保する
- 行き場のある滞留者を待機させる
- 行き場のない滞留者を避難場所等（中央公園）に誘導し、待機させる
- 行き場のある滞留者を引き続き滞在させる
- 行き場のない滞留者を避難場所等（中央公園）から一時滞在施設に誘導し、滞在させる
- 滞留者を利用可能な交通機関で帰宅させる

2つの場面



場面1 地震から約1時間後、現地本部に有志の事業者が参集しました。

→今いるメンバーで、「現地本部立ち上げキット」を参考に、役割を分担してください。

場面2 中央公園に大量の帰宅困難者が避難してきています。夕暮れが近づき、屋内への避難が必要になってきました。

→帰宅困難者の受け入れに関して、中央公園や一時滞在施設、区災害対策本部と、実際の報告様式やとりまとめ様式を活用して連携してみましましょう。

場面 1 西口現地本部立ち上げ



あなたは・・・現地本部に派遣された職員

地震から2時間が過ぎました。あなたは上司から現地本部の情報を適宜、報告し、できる範囲で現地本部運営をサポートするように言われて徒歩で参集しました。

区からの帰宅困難者対策班はまだ到着していません。

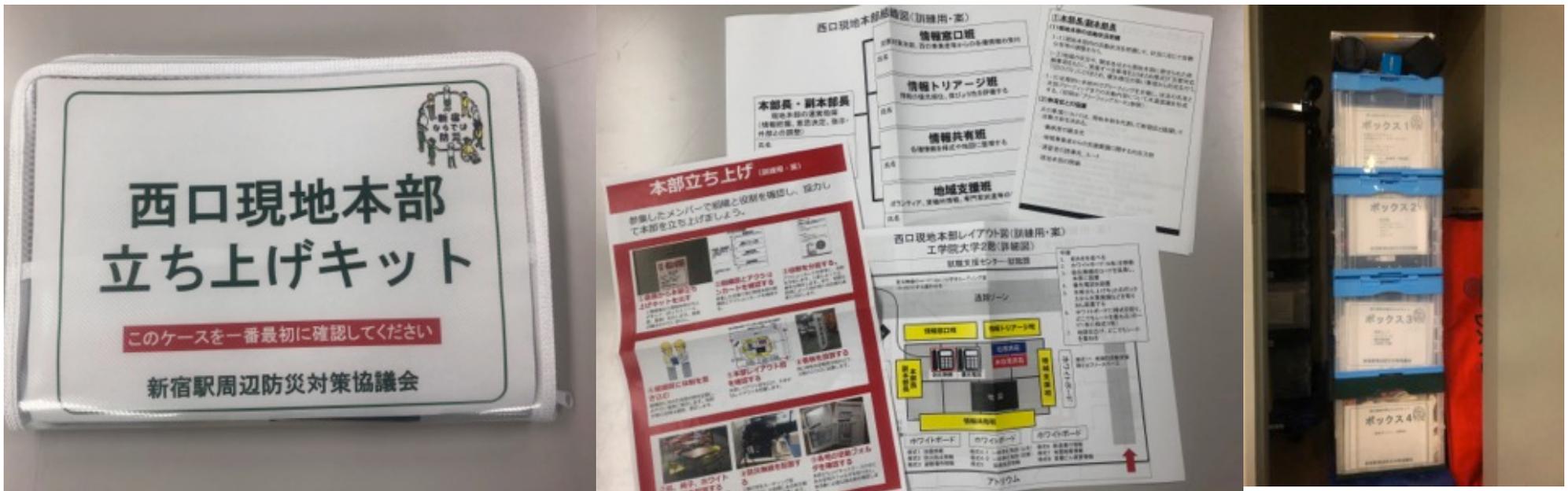
集まった事業者は、今、このテーブルを囲んでいるメンバーです。

まずは、自己紹介をした上で、

「現地本部立ち上げキット」を開き、アクションカードをよく読んで、役割分担を決め、「組織図」に書き込んでください。

現地本部立ち上げキット

現地本部の立ち上げに必要な様式、資機材、マニュアルをまとめ、災害時に駆けつけた事業者で手分けして、効率的・効果的に活動できるようにしたキット。通常は、工学院大学2階の倉庫に保管している。



現地本部マニュアルとキット



新宿ルール

- 1 組織は組織で対応する（自助）
- 2 地域が連携して対応する（共助）
- 3 公的機関が地域を支える（公助）

新宿ルール実践のための行動指針

- I むやみに移動しない
- II 現地本部を中心に連携する
- III 地域で傷病者に対応する

西口現地本部
マニュアル

一時滞在施設運営
マニュアル

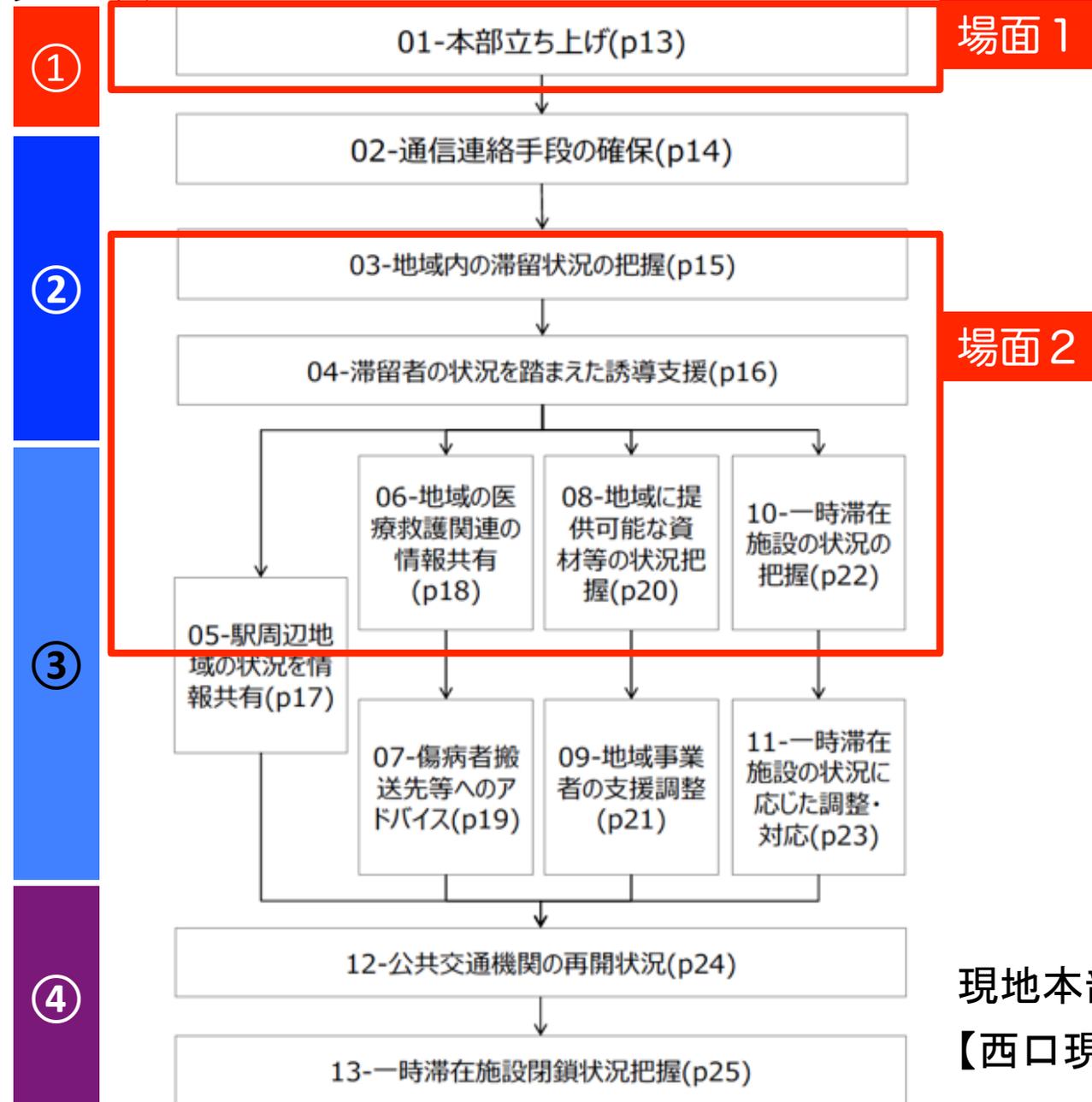
滞在者等誘導
マニュアル

現地本部立ち上げキット

訓練の流れと対応する手順



フェーズ



現地本部運営マニュアル

【西口現地本部版】(案・訓練用)より

現地本部立ち上げ手順



本部立ち上げ (訓練用・案)

参集したメンバーで組織と役割を確認し、協力して本部を立ち上げましょう。

①倉庫から本部立ち上げキットを出す
2階倉庫から現地本部立ち上げキット（ボックス1～4、筒、看板）を出します。倉庫の鍵はかけていません。

②組織図とアクションカードを確認する
参集した全員で西口現地本部の組織図とアクションカードを確認する。

③役割を分担する。
アクションカードを参考に、役割を分担します。人数によっては、兼任も検討します。また、時間の経過によって他の班への応援も柔軟に対応します。

④組織図に体制を書き込む
組織図に決めた役割分担を記録し、みやすい場所に掲示します。役割が変わる時は適宜、修正します。

⑤本部レイアウト図を確認する
本部レイアウト図を広げ、大まかなレイアウトを把握します。

⑥看板を設置する
西口現地本部看板を組み立て、2階の入り口に設置します。

⑦机、椅子、ホワイトボード等を配置する
本部レイアウト図をもとに、机、椅子、ホワイトボード等を配置する。（裏面参照）

⑧防災無線を配置する
2階の学生ミーティング室（A-0221）の窓際にある防災無線の電話機を本部に配置します。

⑨各班の活動フォルダを確認する
本部立ち上げキットケースの中にある各班のフォルダを取り出し、各活動に必要な様式類を確認します。

現地本部立ち上げ手順



本部立ち上げ (訓練用・案)

参集したメンバーで組織と役割を確認し、協力して本部を立ち上げましょう。



① 倉庫から本部立ち上げキットを出す

2階倉庫から現地本部立ち上げキット（ボックス1～4、筒、看板）を出します。倉庫の鍵はかかっています。



② 組織図とアクションカードを確認する

参集した全員で西口現地本部の組織図とアクションカードを確認する。



③ 役割を分担する。

アクションカードを参考に、役割を分担します。人数によっては、兼任も検討します。また、時間の経過によって他の班への応援も柔軟に対応します。



④ 組織図に体制を書き込む

組織図に決めた役割分担を記録し、みやすい場所に掲示します。役割が変わる時は適宜、修正します。



⑤ 本部レイアウト図を確認する

本部レイアウト図を広げ、大まかなレイアウトを把握します。



⑥ 看板を設置する

西口現地本部看板を組み立て、2階の入り口に設置します。



⑦ 机、椅子、ホワイトボード等を配置する

本部レイアウト図をもとに、机、椅子、ホワイトボード等を配置する。（裏面参照）



⑧ 防災無線を配置する

2階の学生ミーティング室（A-0221）の窓際にある防災無線の電話機を本部に配置します。



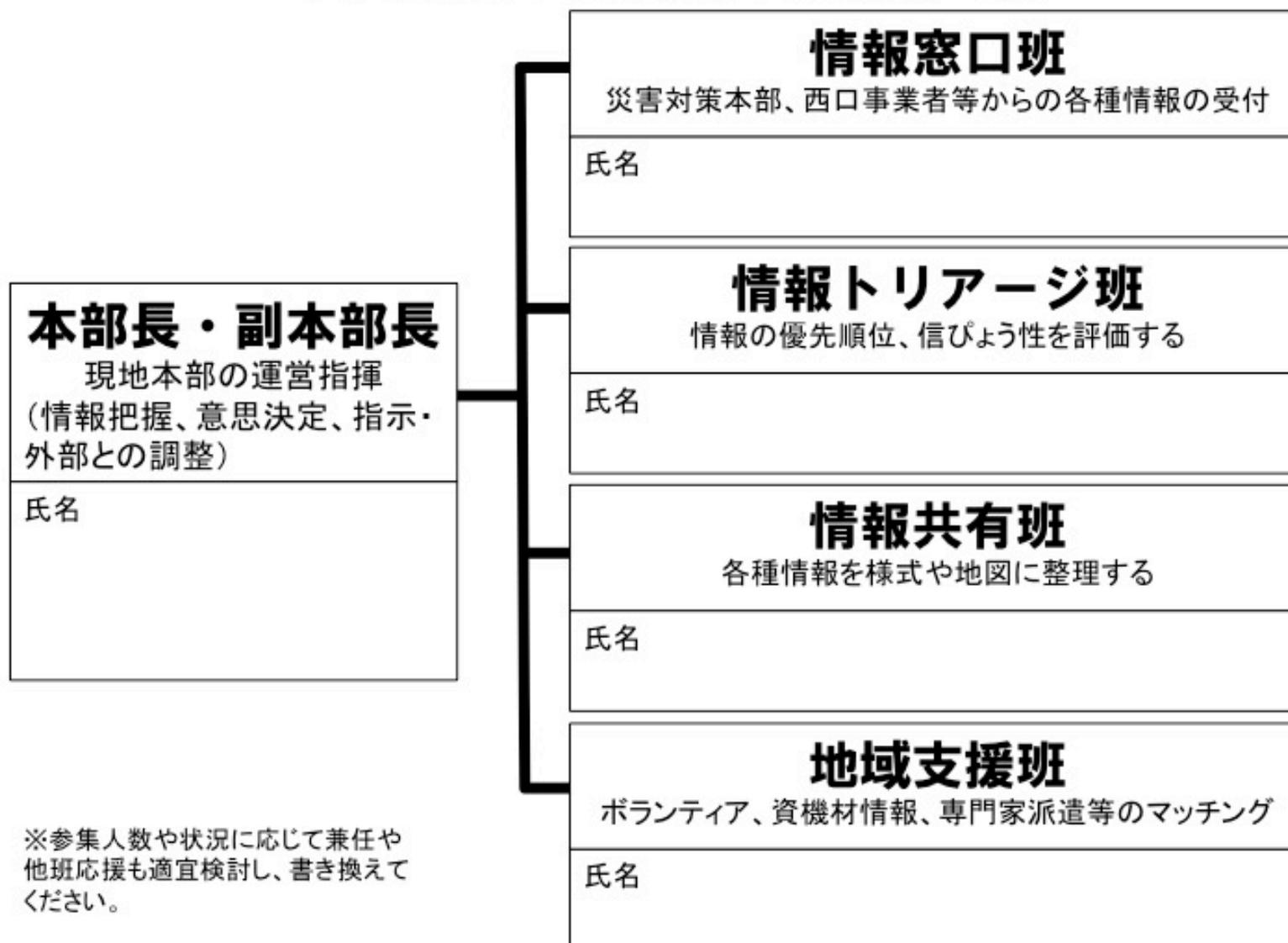
⑨ 各班の活動フォルダを確認する

本部立ち上げキットケースの中にある各班のフォルダを取り出し、各活動に必要な様式類を確認します。

組織図



西口現地本部組織図(訓練用・案)



※参集人数や状況に応じて兼任や他班応援も適宜検討し、書き換えてください。

アクションカードとは



- 災害時に現地本部に誰がどれくらい参集できるかは、発生の時間帯、被災状況、事業者の勤務状況などによって未知数です。
- 参集した事業者が協議会の訓練を経験しているとは限りません。
- どのような状況であっても、集まった事業者で協力して最善の現地本部活動ができることを目的に、役割ごとに活動内容を示したカードが「アクションカード」です。
- 「アクションカード」は全7枚あります。まずは7枚のカードに全員で目を通し、役割を決めてみましょう。兼任もOKです。

アクションカード



①本部長/副本部長

(1)現地本部の活動状況把握

1-1)

②情報窓口班

分担 (1)各事業者及びレポーターから報告を受ける。

1-2)

地域内
の
ポーター

③情報トリアージ班

(2)入手した [情報が少ない場合や、信憑性の高い
扱う場合には、情報窓口班が兼任する。]

1-3)

2-1) 入手
報トリアー

(1)情報の入手

1-1) 情報窓口班が現地本部内の報告様式に
様式に沿って評価する。

(2)新宿

2-2) 相談
は副本部

(3)地域へ

3-1) 地域
有してい

(2)情報の発信

- 2-1) 情報の優先順位を評価する。
- 2-2) 情報源の信頼性及び情報の信ぴょう性
- 2-3) 評価結果を踏まえて取捨選択・整理し
共有班に伝達する。

次の事

活動

・傷

・地

・滞

・現

報告様式

現地本部内 報告様式	
報告者	報告日時
報告内容	報告場所
報告内容	報告場所
報告内容	報告場所

ココを
用いて
評価

③情報共有班

④情報共有班

(1)

[GIS担当、地図担当、無線LAN担当、ネット担

1-

や

動

(1)GIS情報

⑤地域支援班

(1)提供可能なボランティア・資機材の情報入

1-1) 現地

ホワイトポ

1-1) 情報トリアージ班から、周辺の事業者等「
情報」を入手する。

(2)

(2)白地図

2-

列

2-1) 情報

集約を行

1-2) 入手した情報を、ボランティア(応急救護
材(応急救護関係、その他)別に整理する。

2-

を

(3)無線LAN

(2)提供/派遣依頼情報の入手

3-1) 本音

携して、

検討・共

2-1) 情報トリアージ班から、周辺の事業者等「
遣希望情報」を入手する。

(3)

3-

や

2-2) 入手した情報を、ボランティア(応急救護
材(応急救護関係、その他)別に整理する。

(3)専門家の派遣

3-1) 現地本部に参集した専門家と、必要に
現地本部が把握した情報をもとに、専門家の
る。(派遣先は区に報告する。)

(4)運営支援[マッチング]

4-1) (1)及び(2)の情報をもとに、ボランティ
の提供/貸与に関するマッチングを行う。

4-2) マッチング結果について当該事業者に通

アクションカードの確認



役割分担



組織図への記入



各班ごとで活動内容の確認と作戦会議

場面 1 ディスカッション



- Q1 役割を分担するにあたり、どのようなこと
(通常の仕事内容、特技等) をポイントにしましたか？
- Q2 アクションカードの改善点があれば教えてください。

場面2 西口現地本部運営体験



これからいくつかの災害時の情報を付与します。
先ほどの場面1で決めた役割に基づき、対応をお願いいたします。
また、途中で地域事業者からの「問い合わせカード」をお渡しします。
いま、わかっている情報をもとに対処を検討してください。

【付与の内容】

- ・ 鉄道の運行情報
- ・ 地域の被害情報
- ・ 地域事業者の被災情報
- ・ 一時滞在施設情報
- ・ 応急救護所、災害拠点病院情報 など

**まずは、付与された情報を
様式に整理していきましょう**

情報の取り扱い方

情報

(方法)

- 防災無線
- 衛星電話
- 災害時優先電話
- 伝令

(情報元)

- 新宿区災害対策本部
- 中央公園
- 一時滞在施設
- 事業者

情報の記録
(情報窓口班)

情報の優先順位付け
(情報トリアージ班)

情報の記録・共有
(情報共有班)

付与情報

滞留者の誘導のタイミング

中央公園の滞留者をどのタイミングで避難させるか、新宿区災害対策本部と相談してください。

場面2 ディスカッション



- Q1 中央公園の滞留者を一時滞在施設に避難誘導するのに
必要な情報を得られましたか？
- Q2 中央公園の滞留者を一時滞在施設に避難誘導する判断を
しましたか？判断に悩んだことは、どんな内容ですか？

休憩（10分）



ふりかえり (共有)



◎ふりかえり (15分)

◎まとめ (5分)

◎発表 (15分)

1班 **3** 分 × *班

ふりかえり



お疲れさまでした



新宿防災WEEK2019 2019.11.8~11.18